

はっとこどもえん えんだより 2026ねん

5期：10月19日～12月31日



5歳児（オリジナル国旗）

社会福祉法人 種の会

幼保連携型認定こども園 はっとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail : hat@tanenokai.jp

URL : <http://www.tanenokai.ed.jp/>

種の会 法人本部Mail : tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★10月28日（水）に幼児遠足を予定しています。

詳細は、CCWでお知らせしますので、ご確認をお願いします。

また、雨天中止になりますが、幼児クラスはおにぎり弁当をお持ちください。乳児クラスは給食があります。

★保育参加について

11月2日（月）から16日（月）まで乳児クラスの保育参加を行ないます。詳細はCCWでご確認をお願いします。

前期に参加できなかった幼児の保護者の方も、ご希望があれば直接職員にお声がけください。ご参加お待ちしております。

★健診について

10月19日（月）眼科健診

11月18日（水）歯科健診

★栄養士の中井が産休に入りました。



園舎のブラッシュアップ

園長 藤原 ふうわら

先日の運動会では、たくさんの方々にお集まりいただき、多くの拍手や温かいご声援をありがとうございました。当日の子ども達は、皆さまに見守られながら、自分らしさを存分に発揮していました。運動会を終えた子ども達は、どこかひとまわり大きくなったように感じられます。運動会という大きな舞台を経験し、子ども同士でやり遂げた経験は、どの子どもにとっても“本物の力”として、心の中に深く刻まれたことでしょう。

4月や9月の保護者懇談会でもお伝えしていた「園舎のブラッシュアップ」ですが、まもなくすべて完了いたします。今回、ホールや階段の壁画を手掛けてくださった岡田みほさん（岡田先生）は、法人のロゴマークをデザインされた方です。開園時には園舎の室名表示や壁面アートを担ってくださり、その後も本園で取り組んでいる「三原色の絵画活動」の職員研修もしてくれていた先生です。今回のブラッシュアップに向けた事前打ち合わせには、実に多くの時間を費やし、その過程ではさまざまな案が生まれました。しかし、最後はやはりアーティスト。その瞬間のインスピレーションを大切にしながら形になっていきました。ホールには、私がよくお伝えしているロゴマーク“ひかりのぼうし”からエネルギーが広がり、そこには各クラスのシンボルが描かれています。このクラス名ですが、実は小さな物語があります。

～ この HAT 神戸、摩耶海岸通という地域の中で、おひさま（おひさま組）がのぼり、その光を受けながらそよかぜがふき、海には凧（なぎさ組）が広がり、虹（にじ組）がかかった大きな空（そら組）には、かもめ（かもめ組）が気持ちよさそうに飛んでいる～そんなストーリーです。

岡田先生は、虹を描く際にも一筆書きで、一つの大きな平筆に七色をのせて一気に描かれ、また、同じ青色でも何色も溶き合わせ描かれました。階段の壁画には、“ひかりのぼうし”の中に、「はっとこども園の子ども達が好きなもの」がたくさん詰め込まれています。子ども達との会話が広がるよう、あえて抽象的にも描かれており、それぞれが異なる見え方や感じ方を楽しめる作品になっています。



今後は年季の入ったトイレの壁も整備し、こちらにも岡田先生が描いてくださった「子ども達が好きなもの」を取り入れていきます。園舎そのものが子ども達の好奇心や想像力を育む環境となるように進めてまいります。ぜひ完成を楽しみにお待ちください。



話を聴くこと

副園長 ^{はら} 原

子どもたちの心の中には、毎日たくさんの「話したいこと」があります。特に園からの帰り道は、その日の出来事や発見したこと、楽しかったことなどを誰かに聴いてほしくてたまらない時間かもしれません。けれども、忙しい毎日の中では、子どもの話をゆっくり聴く時間をつくるのがなかなか難しいものです。お仕事や家事に追われ「後で聴こう」と思いながら、一日が終わってしまうこともあるのではないのでしょうか。

かつては、おじいちゃんやおばあちゃんと会話をしたり、近所の子どもたちと遊んだりする中で、自然とたくさんの言葉に触れる環境がありました。しかし現代の子どもたちは、そのような機会が以前ほど多くありません。だからこそ家庭では「話すこと」と「聴くこと」をこれまで以上に大切にしていきたいものです。

子どもは、話をすることで自分の気持ちや考えを整理しています。嬉しかったことや悔しかったことを言葉にすることで心が軽くなったり、自分の考えをまとめたりすることができます。また「聴いてもらえた」という経験は「自分は大切にされている」という安心感につながります。その積み重ねが自己肯定感や自己受容感を育み、やがて相手の話にも耳を傾けられる力へとつながっていきます。とはいえ、子どもの話をじっくり聴くことは簡単ではありません。話があちらこちらに飛んだり、なかなか本題にたどり着かなかったりすることもあります。特に乳幼児の時期は、まだ十分な言葉を持っていないため、伝えたいことを表現するのに時間がかかります。そんな時は「要件がなんなのか」という考え方ではなく「子どもとの会話を楽しむ」くらいの気持ちでいると少し楽になるかもしれません。

ある記事に、こんな言葉がありました。

『子どもの話を聴くとき、真面目な親ほど、状況をしっかり把握して、何が言いたいのか、どういうことなのかと理解し過ぎようとしてます。毎回、そんなふうにお話を聴こうとしたら疲れ果てますし、子どもも話す意欲が失われるかもしれません。全部を真剣に聴くのは大変なので“気持ちを受け止める”点だけを外さなければ、あとは、子どものおしゃべりをオウム返しするくらいでもよいと思います。なぜなら、子どもは声に出すことで、自分の考えを整理して、まとめているからです。ズボラな聴き上手になって、どんどんおしゃべりさせてあげましょう。』

私自身の子育てで『ズボラな聴き上手』の言葉に肩の力が抜ける思いがしました。ズボラの言葉には少し引っかかるころがあったので「ズボラ＝気軽」に変換して『気軽な聴き上手』になって子どもの話を聴くと、悪くない子育てしているなと思えます。

ぜひ皆様も、話している子どもの“気持ちを受け止める”ところは大事にしながら『気軽な聴き上手』をやってみていただけたらと思います。



〇さい
おいさまぐみ

たけなか よりふじ
竹中 依藤
かとう おくにし
加藤 奥西

〇歳児 5期：10月19日～12月31日

- 【テーマ】 秋の深まりや冬の訪れを感じる
- 【うた】 ♪まつぼっくり ♪こぎつね ♪あわてんぼうのサンタクロース
♪コンコンクシャン ♪おしょうがつ など
- 【わらべうた】 とうきょうとにほんばし・このここのこ・せんべせんべやけたなど
- 【室内活動】 絵の具（赤）・クレパス（三原色）・楽器遊び（すず、タンブリン）
感触遊び（トイレットペーパー、米粉、高野豆腐 など）
- 【戸外活動】 ミニ園庭遊び・散歩（HAT内、近隣の公園）
- 【異年齢活動】 乳児交流・クローバーデー
- 【栽培】 冬野菜（苗植え、水やり、観察、追肥）
- 【食育】 さつまいも（11月）・クリスマスケーキ（12月）
※内容は変更になる場合があります



～クレパスでお散歩バッグ作り～

クレパス遊びでは2色のクレパスを使って、紙に描くことを楽しみました。保育者が描く姿から興味をもち、自分からクレパスに手を伸ばしていました。クレパスを握って紙の上で動かし、描いた線や点などを不思議そうに眺めたり、何度も腕を動かして描いたりする姿が見られました。また、色を変えることで違う色の線が描かれることにも興味をもち、思い思いに手を動かしながら表現することを楽しんでいました。子ども達が描いたものでバッグ作り、5期でお散歩に持って出かけたと思います。

～感触遊び～

わかめや寒天、氷など様々な素材に触れて遊びました。「なんだろう」と不思議そうにしながら指先で触れる姿から、慣れてくると手のひらで握ったり、つぶしたりしながら感触を味わっていました。ツルツル、パリパリなど触れるたびに变化する感触に興味津々の子も。五感をたっぷり使いながら、それぞれの方法で楽しむ姿が見られました。これからも様々な素材に触れる経験をしていきたいと思います。





1さい
おいさまぐみ

たけなが 依藤
かとう おくにし
加藤 奥西

1歳児 5期：10月19日～12月31日

- 【テーマ】 秋から冬の季節の移り変わりを感じながら遊ぶ
 - 【うた】 ♪こぎつね ♪やきいもグーチャーパー ♪まつぼっくり など
 - 【わらべうた】 おてらのおしょうさんが・とうきょうとにほんばし など
 - 【室内活動】 クレパス（三原色）・絵の具（青）・楽器遊び（すず、タンブリン）
感触遊び（高野豆腐、米粉、トイレットペーパーなど）
 - 【戸外活動】 園庭遊び・散歩（HAT 内、近隣の公園）
 - 【異年齢交流】 乳児交流・クローバーデー
 - 【栽培】 冬野菜（苗植え、水やり、観察、追肥）
 - 【食育】 さつまいも（11月）・クリスマスケーキ（12月）
- ※内容は変更になる場合があります



感触あそびをたくさん楽しんだよ

4期では、寒天やわかめ、米ぬかなどを使った感触遊びを経験しました。寒天の感触遊びでは、これまで赤・黄・青の1色ずつに触れ、次に2色の寒天に触れました。2つの色が混ざって色が変わることに気づいた子ども達。気づきを言葉やさぐさで表現しながら、たくさん触れることができました。また見立て遊びを楽しむ姿も見られました。これからも様々な素材に触れ、子ども達と一緒に五感を使った遊びを楽しんでいきたいと思います。



みんなで遊ぶのたのしいね

少しずつ玩具の使い方を知ったり、様々な遊びの展開を楽しむことができるようになったりとそれぞれのなかで成長が見られ、友達との関わりも増えてきています。友達の名前を呼んでみたり、遊びのなかで意気投合したりと友達と遊ぶ楽しさを感じながら遊ぶ姿が見られるようになってきています。まだまだ友達に伝えきれず、伝わらず上手い出来ないこともあります。これからも保育者が必要に応じて代弁しながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わうことを大切にしていきたいと思います。



2さい
なぎさぐみ

たかはし のうそう こばやし
高橋・能宗・小林

5期（10月19日～12月31日）

- 【テーマ】 いろいろな自然物に触れて季節を感じよう
- 【室内活動】 粘土（米粉、小麦粉）・のり遊び・楽器遊び・散歩バッグ作り など
- 【戸外活動】 園庭遊び・散歩（近隣の公園）
- 【うた】 ♪やきいもグーチーパー ♪まつぼっくり ♪やまのおんがくか など
- 【わらべうた】 くまさん くまさん・かれっこやいて・おてらのおしょうさん など
- 【集団遊び】 ルールのある遊び（しっぽ取り）・表現遊びなど
- 【異年齢交流】 クローバーデイ・乳児交流・4歳児交流
- 【栽培】 冬野菜を育てよう（苗の植え付け、水やり）
- 【食育】 栗（10月） 柿（11月） クリスマスケーキ（12月）

運動会楽しかったね

楽しみにしていた初めての運動会が終わり、また一つ子ども達が大きくなったように感じます。海賊体操では、練習を重ねるごとに上手になり「シャキーン！」と元気な声を響かせながら、全身を使って体操をする姿が見られました。

またゲーム遊びをすることが分かったと「やったー」と嬉しそうに参加していた子ども達。ムーブメントや2人組のゲーム遊びを通して、友達をより意識するようになり、子ども同士の会話や関わりがさらに増えたように思います。運動会本番でも友達と一緒に取り組む姿を見ていただけたと思います。これからも友達との関わり大切にしながらさまざまな遊びを楽しんでいきたいと思います。



ボディーパーンティング

夏ならではの活動として、ボディーパーンティングを行ないました。まずは手で赤、黄、青の絵の具に触れ、冷たくてヌルヌルした感触に大興奮の様子でした。両手いっぱい絵の具を付けて、自分の腕やお腹などに付けてみたり、保育者にも付けてみたりしながら楽しんでいました。最後は顔にも絵の具を付けるほど夢中になって楽しむ姿も見られました。



きさい 谷
笹井・谷

5期（10月19日～12月31日）

- 【テーマ】 秋の自然・冬の訪れを感じよう
- 【絵画・制作】 秋の制作・クリスマス制作
お祭りに向けた製作
- 【うた】 ♪やさいもグーチーパー ♪まつぼっくり ♪どんぐりころころ
♪おばけのかぼちゃ ♪きのこ ♪いしがたにのうた
♪あわてんぼうのサンタクロース ♪お正月 ♪発表会のうた
- 【音楽・表現】 リズム打ち（3拍打ち・7拍打ち） リトミック
発表会に向けた合奏
- 【戸外活動・交流】 秋の遠足 中学生交流 秋祭り 焼き芋大会 クリスマス会
- 【農育・食育】 冬野菜の苗植え・水やり さつまいもの食育・クッキング
クリスマスクッキング
- 【絵本】 さつまのおいも おちば いろいろクリスマスツリー

運動会に向けて

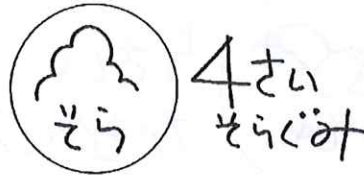
運動会に向けて演技のリトミック、ムーブメント、ミニパラバルーンを練習してきました。とんぼやうさぎに変身し、のびのびと表現を楽しむ姿、友達を探して「一緒にしよう」と誘う姿、最初は難しかった『うらら』を笑顔で歌いながら行ない成功を喜ぶ姿などたくさんさんの素敵な姿が見られました。ミニパラバルーンでは、職員の見本動画を見て模倣を楽しむところから始まり、大きな声で歌を歌いながら笑顔で振り付けをして「ヤー！」と決めポーズをばっちり決めるところまでできるようになりました。運動会ではたくさんのご声援ありがとうございました。



お月見を満喫

9月はお月見に向けて制作やクッキングを楽しみました。毎日のサークルタイムで「昨日のお月様はどんな形だったか」という話をしていました。雨が続いた週には「雲で見えなかったね」という話があったり「細いお月様だったよ」と形を細かく共有したりする子ども達の姿が見られました。制作では、好きな色の折り紙でちぎり絵を行ない、個性溢れる月がたくさんできました。クッキングでは、白い団子とかぼちゃを混ぜた黄色い団子を作り、きなこをかけておいしくいただきました。





すそち・ばん
未白・坂本



5期（10月19日～12月31日）



- 【テーマ】 秋から冬への移り変わりを楽しむ
- 【絵画・制作】 絵の具・はさみ・クレパス遊び～おいもほりより～
クリスマス製作
- 【うた】 ♪やきいもグーチーパー ♪まつぼっくり
♪やまのおんがくか ♪おばけのかぼちゃ
♪そうだったらいいのに ♪あわてんぼうのサンタクロース
- 【音楽・表現】 楽器遊び（トライアングルを含めた打楽器でのリズム打ち）
リトミック（表現遊び・劇遊び）
- 【異年齢交流】 秋の遠足 中学生交流 お祭りごっこ
- 【戸外活動】 やきいも大会
- 【農育・食育】 冬野菜の水やり さつまいもの収穫 クッキング
- 【絵本】 さつまのおいも おおきいツリーちいさいツリー



みんなで作り上げたパラバルーン



毎日動画を繰り返し見て動きを確認したり、曲を聴き込んだりとパラバルーンの練習に全力で取り組んできました。全員でタイミングを合わせることやリズムに乗って体を動かすことなど難しいポイントもたくさんありましたが、部分練習を何度も重ねるなかで上手くいったときには「やったー！」とみんなで大喜びし、成功の喜びを分かち合うことで自信へと繋げていきました。

また、友達同士で見合いっこをするなかで「待つ姿勢がかっこよかった」「指先までぴしっと伸びていて素敵だった」などと、友達のきらきらを見つけることもできました。時には挫けそうになる日もありましたが「見に来てくれる人にかっこいい姿を見せたい！」という強い思いを胸に自分たちで気持ちを高め合い、最後まで諦めずに走り抜くことができました。同じ目標に向かって心をつなげる楽しさや、やり遂げたときの大きな達成感を味わった子どもたちは、パラバルーンを通して一段とたくましく成長したように感じられます。最後まで一生懸命頑張ったそら組に「よく頑張ったね」の気持ちを届けてあげてください。





5さい
かもめぐみ

ふくおか いすみ
福岡・泉

5期 (10月19日～12月31日)

- 【テーマ】 世界や季節の行事を楽しもう～ハロウィン、クリスマス～
- 【絵画・造形】 絵の具を使った絵画、折り紙
- 【うた】 ♪ドコノコノキノコ ♪くだもの列車 ♪おばけのかぼちゃ
♪ジングルベル ♪あわてんぼうのサンタクロース ♪発表会の歌
- 【楽器・表現遊び】 ピアニカ、打楽器、リトミック、ダンスオブハーツ
- 【異年齢活動】 幼児遠足、秋祭り
- 【行事】 秋のお泊まり保育、よいこのつどい、愛のもちつき大会、焼きも大会
地域交流（中学校、ハピータウンKOBÉ）、電車でおでかけ
- 【農育・食育】 冬野菜の種植えと水やり、キノコのクッキング
- 【絵本】 ほしじいたけ ほしばあたけ、まじょのメルとひかるスープ

運動会 ～心をつに～

はっとこども園での最後の運動会が終わりました。かもめ組は、かけっこ、台風の目、リレー、組体操だけでなく、体操リーダーや、各クラス競技の見本、アナウンスなどたくさんの役割も担ってくれました。運動会当日までの取り組みをお話します。

お稽古を始める前に「なんで運動会をするの?」という話し合いから始めました。子ども達は自分たちの気持ちや観に来てくれる保護者の方々の気持ちも考えて、真剣に話し合い「心をつに、チームワークがあるところ」を観てもらおうと意見がまとまりました。お稽古が始まり、台風の目、リレー、組体操を取り組む中で、たくさんの葛藤も経験してきました。台風の目では「どうやったら速く走れるかな?」「3人組や順番はどうやって決める?」などと競技として取り組むだけでなく、友達と意見を出し合う作戦会議もたくさんして、チームで心をつにできるように当日を目指しました。台風の目やリレーで負けてしまった経験も「あきらめなかったら勝てる」「負けたらまた考える」などと何度も挑戦して心も成長したように感じます。

組体操では「真剣な姿」や「誰とでも力を合わせる姿」を観てほしいとお稽古をしてきました。かもめ組として、みんなで一緒に成功できるように何度もお稽古を繰り返しながら、いろいろな技に挑んできました。運動会での経験を通して、また一つ大きくなったかもめ組です。





フリーのせいせい

まえだ
前田

かもめ組の子ども達は、クラスの競技や演技だけでなく、体操リーダーや子どもアナウンスなど様々な場面でも力を発揮していました。今回は、そんな子どもたち達の姿を紹介します。

○体操リーダー



きれいに見えるポイントとして「指先まできれいに」「動きをあわせる」などということ意識して練習を重ねていきました。振り付けも指先まできれいで完璧に覚えることができ、ピタっと全員の動きも合うようになりました。運動会当日は、体操リーダーとして自信を持って体操をすることができました。

○子どもアナウンス



「アナウンスって何をするの？」から話を始め、昨年度の運動会の動画を見ました。「みんなに分かりやすく」「ゆっくり言う」といった話し方だけでなく、巧技台までの走り方やお辞儀の仕方など何度も繰り返し練習し、園だけではなくお家でもたくさん練習をしていました。運動会当日は、堂々と大きな声でアナウンスすることができました。

○看板作り



看板の台紙にそれぞれが描いた紙を貼り合わせ、背景を作りました。どんな風に色を混ぜると素敵な色ができるのか考えながら色を作り、様々な色が組み合わさった背景が完成しました。文字を描く時も、子ども同士で教え合いながら描くことができおり、素敵な看板ができあがりました。

○各クラスの見本+フォロー



運動会当日に、各クラスの競技の見本やお手伝いをしました。各クラスのおけいこに一緒に入り、見本としての役割を果たしていました。なぎさ組の競技ではパフリングをコーンに戻す役割をしっかりと果たし、お手伝いのおかげで素早い動きでスムーズに行なうことができました。



お台所の先生から



なかい 福井 伊藤

◆◆ 新米の季節 ◆◆

秋になり、新米の季節がやってきました。新米とは秋に収穫され、12月31日まで
に精米され、包装されたお米のことを言います。お米は大変栄養価に富んだ食品です。お
米に含まれる主な栄養成分は炭水化物で、その他にもタンパク質、カルシウム、鉄、
マグネシウム、亜鉛、ビタミンB1、ビタミンB2、食物繊維が含まれています。お米
を取り入れた食生活は、体に必要な栄養素をバランス良く含んでいる優れた食品である
という点に加え、主食のお米におかずを組み合わせることで更にバランスの取れたもの
になるというメリットがあります。また、お米の成分のでんぷん質は体の中でブドウ糖
に変わり、エネルギー源となります。このエネルギーは脳の働きを活性化する役割を担
っています。そんなお米の季節ならではの美味しさをお家でも味わってみてくださいね。

はっとこども園では、お米を五分づきに精米したものを使用しています。栄養価（特
にビタミンBや食物繊維）が白米よりも高いため、手軽に栄養を摂取することが出来ま
す。分づき米とは、玄米から精米する際に一部の糠を残したお米です。（3割の糠を削
ったものが三分づき、7割の糠を削ったものが七分づき）白米のように食べやすく、
玄米のように栄養価が高い分づき米をよかったらお家にも取り入れてみてください。



《11月24日は日本食の日》



11月24日は「良い（11）にほんしょく（24）の日」です。和食は、米飯を中
心とした栄養バランスの良い食事構成、旬の食材の活用、発酵食品の利用、そして四季
折々の自然の美しさを表現する文化であり、その文化の保護・継承のために制定された
日です。和食の魅力を再発見し、次世代に伝えるための記念日であり、旬の食材や伝統
行事と結びついた日本の食文化を見直すきっかけとなる日です。

少しずつ涼しくなり、秋の季節となりましたが、秋は「食欲の秋」とも言われるよう
に、さつまいもや栗・さんまなど秋に旬を迎える美味しい食材がたくさんあります。旬
の食材は、その時期に最も美味しく栄養も豊富です。季節の移り変わりを感じながら、
その季節ならではの食べ物を味わうことも日本の食文化の大切な魅力の一つです。給食
でも、秋の旬の食材をたくさん取り入れています。子ども達と秋ならではの味や香り、
食感を楽しみながら、食べ物の旬を感じたいと思います。



ほけんだより



看護師 ならき 榎木

早いもので今年度も残り半分となりました。この半年での子ども達の成長をととても感じています。過ごしやすいこの季節を思う存分味わって、今まで以上に活発に自然に触れて楽しんでほしいと思います。

インフルエンザ予防接種のシーズンです

インフルエンザのワクチンは、肺炎や脳炎などの合併症を防ぐ重症化防止効果があります。接種しても発症することはありませんが、軽く済むことが多いと言われています。

子どもの場合は2回接種が標準で、ワクチンは効果を発揮するまでに約2週間かかり、5か月ほど効果が期待できます。ただ、アレルギーのあるお子様の場合、受けられないこともありますので、医師とよく相談してください。

秋は薄着の動きやすい服装で

本格的な寒さを迎えるこの時期に薄着の習慣をつけておけば、風邪をひきにくい体になります。

外気を肌で直接感じることで、自律神経が整い病気への抵抗力が高まります。

子どもは体温が高く、汗もかきやすいので、まず下着をつけて体を冷やさないことが大切です。

次に厚手の服を1枚着るより、素材の異なる薄手の服を2枚重ねる方が、空気の層ができて、温くなり室温に合わせて脱ぎ着がしやすくなります。屋外で着る上着などは、そで口や、首元が、ピッタリと閉じている物を選びましょう。

子どもの足に合った靴を履かせましょう



秋、冬のスキンケア3か条

乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵です。放っておくと乾燥やかゆみの原因になってしまいます。『こまめに、丁寧に』日常的なケアをしてあげてください。

①たっぷり保湿：特にお風呂上がりの肌のような湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的です。

②清潔を保つ：石けんを泡立て、優しく洗い流す。

③刺激を少なくする：直接肌に触れる衣類はポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激してかゆみのもとになります。

ウェルネス体育あそび

体育講師 難波 さん

5期は秋から冬を味わう期として実施いたします。この時期は気候もよく運動には最適の時期となります。この時期にサーキット運動でたくさんの動きを身につけながら、きめ細かさや、一つ一つの動きの正確さなどを確かなものにしていきます。

第5期の取り組みとねらい

サーキット運動

○3歳児クラス（U形サーキット）

- ・動き方やルールが「わかる」から「できる」楽しさへとつなげていきます。
- ・複合動作①（～しながら～するという2つの動作を同時に行なう）を経験していきます。
- ・基本動作を正確に行なっていきます。

○4歳児クラス（U形サーキット）

- ・基本動作では動きの確かさ（素早さ、連続性、バランス性など）を図ります。
- ・複合動作①（～しながら～するという2つの動作を同時に行なう）を安定して行なえるようにしていきながら、複合動作②（・・・しながら・・・して・・・する。というように、1つの動作に3つ以上の動きを同時に行なう。）を経験していきます。

○5歳児クラス（U形サーキット）

- ・引き続き、複合動作②（～から～して～するという3つの動作を同時に行なう）を取り組みます。
- ・複合動作③（上肢は・・・しながら、下肢は・・・しながら・・・するというように、1つの動作に上肢と下肢を同時に行なう）を複数経験していきます。

ポイント指導

○3歳児クラス

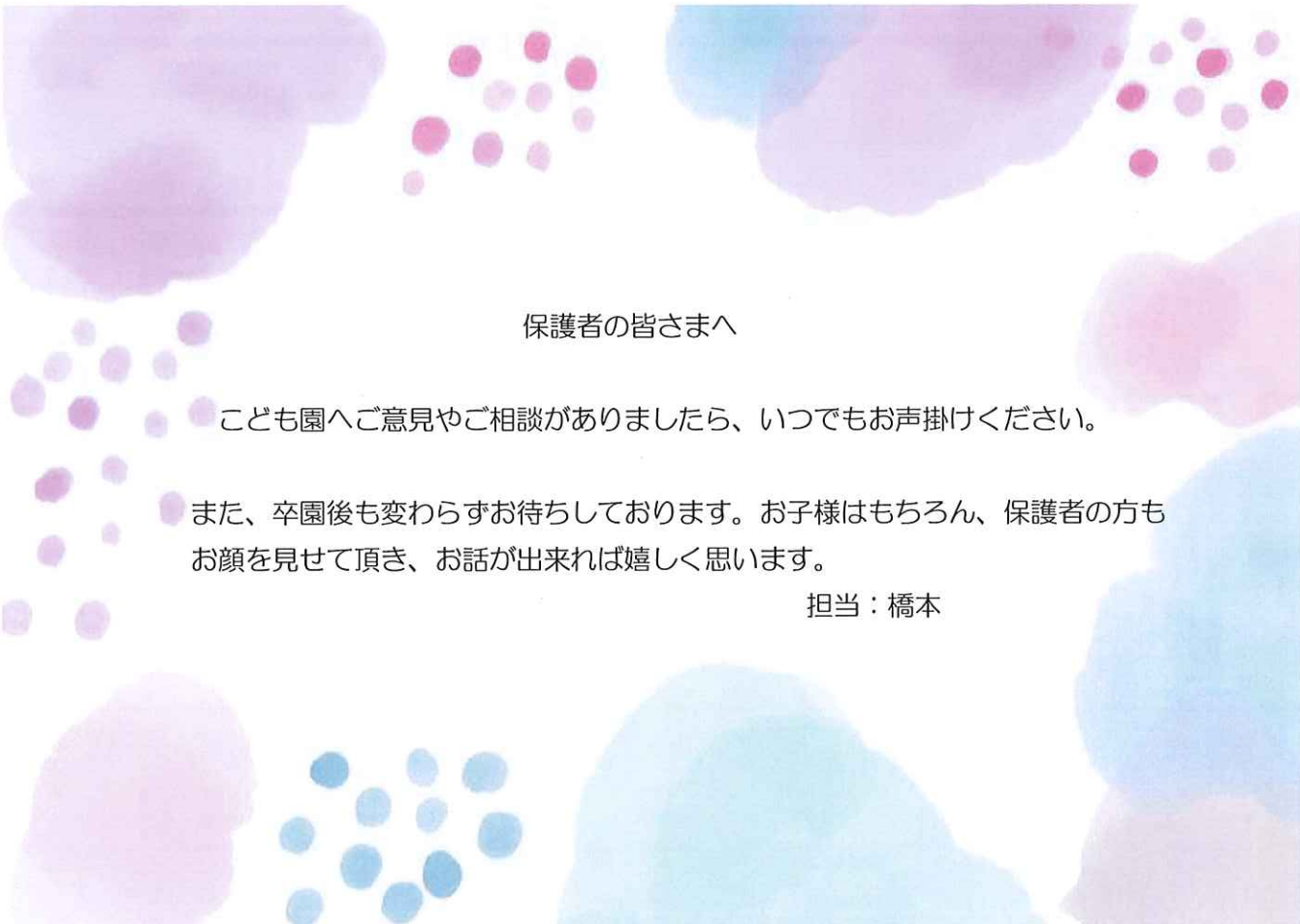
- ・マット「前回り」⇒マットに支持し、お腹を見ながら真っすぐ前に回り起き上がります。
- ・跳び箱「台上～開脚乗り」⇒台上から跳びおり、すぐに腕支持で開脚をしながら台上に乗ります。
- ・鉄棒「足抜き回り」⇒鉄棒にぶらさがり、手と手の間に足を通して手を離さずに回ります。出来てきたら、お腹を見ながら戻るところまでを行ないます。

○4歳児クラス

- ・マット「坂付き後転」⇒坂道を使い、お腹を見ながら後ろに回ります。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒助走から両足揃えてジャンプした後、すぐに足を同時に開いて跳び越します。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒坂道の壁を使って逆上がりを経験していきます。

○5歳児クラス

- ・マット「側転導入」⇒手の着く方向を覚え、横に回る感覚を身につけていきます。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒お尻を高く上げ、体重移動を行ないながら跳び越します。
- ・鉄棒「逆上がり」⇒鉄棒を体にひきつけながら、けり足と振り上げの足のタイミングを合わせてお腹を見るようにしながら回ります。



保護者の皆さまへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方もお顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本

